

島根県労働者福祉協議会機関誌

しまねろうふく

2010.8
Vol.374



江津市のシンボル パルプ工場煙突

〈目次〉

江津地区労働者福祉協議会のPR …2

中央労福協「全国研究集会」報告 …3

各地区労福協定期総会

地区労福協2010年度役員体制
…4～5

第34回全労済島根県本部通常総代会
第1回県本部代表者会議 ……6
第54回島根県労働者共済生活協同組合通常総代会

中国労働金庫 第7回通常総会開催 …7

ビジネスマナーについて ……8

特集

江津地区労働者 福祉協議会のPR



次回は 10月1日(金)発行です

江津地区労福協のPR

江津地区労福協事務局長

寺岡 郁夫(日本製紙ケミカル労働組合江津支部)

私は、この度の江津地区労福協第36回定期総会において事務局長を拝命致しました、日本製紙ケミカル労働組合江津支部(旧山陽国策パルプ)の寺岡と言います。労福協活動に携わるのは初めての経験で右も左も分かりませんが、一生懸命務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

事務局長着任直後、会長命令で機関誌「しまねろうふく」職場紹介の原稿依頼を受け、早速の難題に四苦八苦しております。

さて皆様は「江津」と言うと何を思い浮かべますか？

JR山陰線を松江・出雲から西に下り、浅利トンネルを抜けると真っ先に見えるのが紅白の100メートル煙突です。中国太郎の異名を持つ「江の川」の西岸に、わが社、日本製紙ケミカル(株)江津事業所があり、そのシンボルとしてそそり立つ2本の100メートル煙突は、白い煙を黙々と噴出し、勇壮な姿を表しています。

製紙会社と言われると紙の製造を行っていると思われがちですが、江津事業所では紙の製造は行っておらず主に溶解パルプを製造しています。溶解パルプとはレーヨンやセロファン、プラスチックの原料で主な用途は服地等に使用されます。また、パルプを原料とし食品、化粧品、医薬品等に使用される合成樹料(CMC)の製造、パルプ製造工程でできた副産物の有効利用を目的としたリグニン製品は、工業用界面活性剤として利用しており当事業所では貴重な資源である木材の完全利用化を推進し、製品や雇用を通じて地域や社会に貢献することを目指しています。

事業所内の行事の中に、毎年7月に行われる日本製紙江津事業所夏祭りがあります。地域住民の方々に対し、日頃のご理解とご協力に感謝するとともに従業員、労働組合、関係会社全員の親睦を深め模擬店を開き焼きそば、ビールなどを格安で提供し、また、石見神楽の講演、福引き抽選会などの催しを開催しています。

また、労働組合活動では、組合員に労働組合の理解を深めて頂くためバスハイク、スキーツアーなどの諸活動を展開しています。各諸活動には労使共同開催の行事もあり、とても良い労使関係を築かせて頂いております。

最後に、江津市は中国第一の大河、江の川の河口に位置し柿本人麿が「石見のや高角山の木の間より、我が振る袖を妹見つらむか」と妻との惜別の情を詠んだ高角山(鳥の星)が街の後方に青々と連なっており、この山峡には山陰の伊香保ともいわれる有福温泉の清湯があり旅の疲れを癒してくれます。

海、山、川の美しい自然に囲まれた江津市、近くにおいでの際は是非お立ち寄り頂きたいと思います。



種々雑感 「しまねろうふく」投稿

貧しさは心の中に影をおとす。物はなくとも幸せだった時代とは違い、現代は心が希薄になつていくのかもしれない。回復していく景気が弱者を切り捨てるようなことにならぬよう注視し、意識していく大切さを共有したい。

初回の視聴率は高くはなかったようだが、じわじわと視聴率が上がってきているようだ。その要因の一つは、ほのぼのと安心できる内容の作品になつてきたことだと思う。このころの時代を背景とする作品は、せわしない現在において、ほのぼのとして心が和むような安心して見ることができるとも多い。それは現代に生きる私たちが無意識に求めているのかもしれない。しかし、今の時代は物質の豊かさが心の豊かさとは比例しないのが現実のようだ。そして物質の貧しさは心の中に影をおとす。物はなくとも幸せだった時代とは違い、現代は心が希薄になつていくのかもしれない。回復していく景気が弱者を切り捨てるようなことにならぬよう注視し、意識していく大切さを共有したい。



県労福協 副会長
福島 秀紀

2010年度 中央労福協『全国研究集会』報告

報告 田中 進 (中国労働金庫)

6月3日～4日にかけて名古屋市において、「新しい公共と市民事業者の役割を考え、改正貸金業法の成果と課題を考察する。」をメインテーマに、全国から262名が参加して開催されました。

「新しい公共」という考え方は、政権交代を契機に提起され、新しい社会づくりに向けて「新しい公共円卓会議」や市民キャビネット等で議論が始まっているものの、言葉では知っていても内容が理解できていないものです。改正貸金業法については、職業柄、運動の経過・一定の内容について理解はできているものの、6月18日の完全施行前にどのようなテーマで取り上げられ、「新しい公共」とのマッチングがどう図られるのか、開催趣旨がいま一歩見えないままに参加しました。

以下、印象に残った講演内容、シンポジウム等について報告をします。

《新しい公共と市民事業者の役割を考える》

講師は中央学院大学教授の福嶋浩彦氏。我孫子市長を経て大学教授に転身、そして現在、内閣府参与として「新しい公共円卓会議」委員、「新しい公共をつくる市民キャビネット共同代表」等の活動をされている方です。福嶋教授は、「新しい公共」は大きな動きになってきているが、「新しい 古い」という以前に公共は「市民の公共」しかないということが基本である。なぜ、いま「新しい公共」と言われるのが問題である。官はこれまで一方的に公共を支配してきた。官の公共はそもそも存在しないと強調された。「新しい公共」とは「非政府・非営利・公式」の市民事業者（協同組合・市民セクター・NPO等）が市民社会の主体となり、「市民の公共を実現」するものであると訴えられていました。

実体験にもとづく問題提起や「ベストの三角形」をもちいた講演が分かりやすく、「新しい公共」の理解を深めることができました。社会が大きく変わる中で、協同組合、市民セクター等の担うべき役割や期待に応えていく必要性を痛感したところです。

《多重債務、自殺、貧困の現場からの報告を聞く》

○基調講演

基調講演として、6月18日の改正貸金業法の施行を控えて弁護士の新里宏二氏から「改正貸金業法の成果や背景を考

察する」、NPO法人ライフリンク代表の清水康之氏から「貧困・自殺の現場から」、NPO法人自立サポートセンターもやい事務局長の湯浅誠氏から「パーソナル・サポート・サービス」の講演を受けました。

貸金業法の改正・多重債務問題に関わってきた新里氏からは、改正貸金業法の成功も今後の取組みにかかっているとして、更なるネットワークの強化が訴えられました。ライフリンクの清水代表からは、社会問題としての貧困・自殺の捉え方、「自殺社会」から「生き心地の良い社会」に向けて自殺に対応できるネットワークの重要性が強く訴えられました。

そして湯浅誠氏からは、貧困・困窮者支援への取組みとして、「セイフティーネット」の脆弱性を補う取組みとして「パーソナル・サポート（個別支援）・サービス」の説明がありました。

ただ、それぞれの持ち時間が30分の設定、湯浅氏にいたっては20分と時間がなかったために不十分な内容で終わっています。講演内容・資料の重みに比して時間が確保されていなかったことが大変残念でした。

○シンポジウム

以上の講演に続いてシンポジウムでは、コーディネーターを高橋中央労福協事務局長が担当して、今日的「貧困」についての質と状況、また世の中の常識としての「自己責任論」をどうみるのか、そして「協同組合・労福協へ期待する役割」についての討議が行われました。「貧困の定義」について、湯浅氏は「単に金がないだけではなく、孤立している状態」、清水氏は「生きている意味の不況」、新里氏は「企業、家庭からも切り離され、帰る場所がない状態」と定義し、「自己責任論」に対しては社会問題として捉えていくことが共通認識として確認されました。また、今後の取組み、労福協への期待では、「多重債務、自殺、貧困問題の課題は、個別的ではなく横断的かつトータルな支援体制が必要」との意見が三者共通に出され、そのためにも「地域に拠点のある労福協が活動・連帯の輪を広げていって欲しい」との期待が表明されました。

最後に、高橋事務局長から「労働運動、消費者運動、市民運動がより連携し、共感の得られる運動を進める必要性が共通認識できた。労福協はその一旦を担い取り組んでいこう。」と決意表明を受け研究集会を終えました。

「地区労福協2010年度役員体制」

益田地区労働者福祉協議会 第38回定期総会 5.25(火)



会 長	吉岡 勝弘	マルヨシむつみ会	幹 事	齋藤 裕芳	島根中井工業労組
副 会 長	田庭 隆樹	ダイワボウ労組益田支部	//	松崎 稔	J P 労組
//	寺本 寛	県職連合益田支部	//	松本 恭司	全日通
//	松本 恭司	全日通	//	島根 博隆	労金益田支店
事務局長	岩本 辰彦	益田市職労	//	林 正 浩	全労済西部支所
事務局次長	松本 力	益田市職労	会計監査	高橋 こなみ	ダイワボウ労組益田支部
幹 事	寺戸 一弘	益田市職労	//	渡部 幸男	県職連合益田支部
//	大賀 信幸	中電ユニオン益田電力所支部	労金益田支店 庶務部長	寺戸 一弘	益田市職労
//	伏谷 次義	県職連合益田支部	労済理事	藤井 昭見	私鉄石見益田

邑智地区労働者福祉協議会 第33回総会 5.27(木)



会 長	原 拓矢	邑南町職	幹 事	河野 靖	邑南町職
副 会 長	伊藤 千恵	川本町職	//	山崎 史朗	邑南町職
//	山下 剛	県職連合邑智	//	坂根 智代	邑智病院職
事務局長	大島 正滋	県職連合邑智	会計監査	浅原 邦彦	邑智郡事務組合
事務局次長	福岡 貴志	美郷町職	//	宮崎 弘文	県職労邑智

松江地区労働者福祉協議会 第34回総会 6.11(金)



会 長	大原 康史	松江市職員ユニオン	幹 事	井上 大輔	一畑電鉄労組
副 会 長	村上 正人	NTT労組島根分会	//	上野 晃一	くにびき農協労働組合
//	福田 英樹	松江市職員ユニオン	//	景山 誠	PCD労組キャパシタ松江支部
//	加田 章	全日通労組	//	藤原 和彦	県職連合県庁支部
事務局長	梶川 義雅	連合島根	//	森山 秀樹	中電フロンティア労組島根原子力支部
事務局次長	浅津 寿広	中国労働金庫松江支店	//	立花 吉規	一畑電鉄労働組合
//	石原 淳	全労済東部支所	//	渡部 優記	渡部印刷労働組合
幹 事	岩谷 裕志	三益農機労働組合	//	金坂 弘樹	中国労働金庫松江支店
//	建部 正光	中国電力ユニオン松江営業所支部	会計監事	藤野 智之	中国労働金庫松江支店
//	周藤 英史	JP労組JP松江支部	//	吉岡 満	全労済東部支所

江津地区労働者福祉協議会 第36回定期総会 6.16(水)

会 長	野海 修二	日本製紙ケミカル労組	常任幹事	中村 正弘	江津通産労組	常任幹事	〈選考中〉	県企業局分会
副 会 長	島田 隆二	鳥居運送労組	//	山根 繁樹	久保田鉄工労組	//	〈選考中〉	江津建築組合
//	津島 正彦	江津市職労	//	宇津巻弘友	テイコク労働組合	会計監査	須山 英司	江津市職労
事務局長	寺岡 郁夫	日本製紙ケミカル労組	//	前本 裕人	全労済西部支所	//	兼行 正文	JP労組石見
事務局次長	松本 敏和	労金浜田支店	//	畑中 秀幸	江津市職労			

安来地区労働者福祉協議会 第37回通常総会 6.17(木)



会 長	糸原 一志	安来市職員労組	幹 事	清水 恵	県職員連合労働組合松江支部
副 会 長	石塚 博	日立金属労組安来支部	//	吉村 修	ダイヤキコウ労組
//	遠藤 志伸	安来製作所労組	//	矢田 雄司	フーズマーケットホック労組
労金部長	大谷 宏	安来市職員労組	//	井上 将志	守谷刃物研究所守谷会
労済部長	岩田 正人	安来製作所労組	//	中原 信雄	全労済
さむやい部長	近藤 拓	出雲造機労組	会計監査	野口 光雄	安来市職員労組
事務局長	松本 均	日立金属労組安来支部	//	石原 和幸	労金労組
事務局次長	中島 徹	ろうきん安来支店	労金理事	石塚 博	日立金属労組安来支部
幹 事	河村 匡吾	HMP労金会	労済理事	遠藤 志伸	安来製作所労組
//	田邊 光男	安来製作所労組	//	永島 修司	日立金属労組安来支部
//	種田 一夫	安来市職員労組	労済監事	糸原 一志	安来市職員労組

浜田地区労働者福祉協議会 第37回定期総会 6.18(金)

会 長	戸津川美二	浜田市職労	常任幹事	山崎 竜一	中電ユニオン浜田	常任幹事	高野 公詳	国労浜田支部
副 会 長	倉井 宏朗	浜田市職労	//	山口 英和	浜田ハイヤー労組	//	佐々木 誠	ハイレックス島根
//	原 英二	私鉄石見浜田分会	//	吉田 雅徳	中電工労組浜田分会	//	岩本 秀樹	県職連合浜田支部
//	守長 浩	J P 労組石見支部	//	杉戸 健一	私鉄石見浜田分会	//	皆尾 智幸	浜田市職労
事務局次長	花田美佐江	県職連合浜田支部	//	竹下 泰志	キーパー三隅分会	//	田中加代子	一般労西部支部
事務局次長	佐伯 裕子	全労済西部支所	//	花本 正二	J P 西労組	会計監査	畑岡 健一	一般労西部支部
会 計	松本 敏和	中国労働金庫浜田支店	//	長岡 久雄	西川病院労組	//	伊藤 明	ハイレックス島根
常任幹事	森脇 潤司	県職連合浜田支部	//	若林 信	中電ユニオン三隅			

雲南地区労働者福祉協議会 第38回定期総会 6.23(水)



会 長	緒木 勝	雲南市職	幹 事	栗原 庄司	島根三洋電機労組
副 会 長	岡 賢一	水戸電機労組島根支部	//	角谷 篤志	県職連合雲南支部
//	狩野 勇二	労金雲南支店	//	昌子 久二	三刀屋金属労組
//	小村 亮二	連合雲南地協	//	門脇 大地	全労済出雲共済ショップ
事務局次長	菅田 和美	雲南市職	//	藤井 孝典	J P 出雲支部
事務局次長	錦織 由幸	雲南農労	//	野津千亜季	雲南病院職員組合(自治労)
幹 事	杉原 孝治	労金部会長	//	川西 博司	労協協賛出雲支部
//	板持 徳生	労済部会長	監 事	月森 裕二	労金労組雲南分会
//	勝部 修二	全労済理事	//	勝部 聖人	ゼンキンメタル労組
//	渡部 幸平	水戸電機労組島根支部			

大田地区労働者福祉協議会 第36回総会 6.23(水)



会 長	飯田 徹	大田市職	常任幹事	高野 誠司	県職連合大田
副 会 長	森山 幸太	石見銀山農協労組	//	桑野 尚宣	大田市職
//	<選考中>	連合島根	//	岩崎 孝則	中電工大田
事務局次長	中村 和也	大田市職	//	岩谷 久徳	日ビス島根労組
事務局次長	山内 秀樹	労金	//	大原 健志	広島アルミ労組
常任幹事	三谷 雄喜	全農林石見	//	安達 利文	労金
//	杉谷 圭司	帝人コードレ労組	//	金森 智裕	全労済
//	伊藤 和雄	建交労	会計監査	野津 礼子	大田市立病院労組
//	松田 哲也	私鉄石見大田	//	郷原つね子	恵和会労組
//	田中 政夫	J P 石見			

出雲地区労働者福祉協議会 2010年度定期総会 6.25(金)

会 長	広沢 寿志	J P 西労組出雲支部	事務局次長	山村 良子	さんろう保育園	幹 事	持田 明洋	全農しまね労組
副 会 長	清水 心悦	ヒラタ精機労働組合	幹 事	高野美喜子	県職連合出雲支部	//	小池 巧	ヒラタ精機労働組合
//	鬼村 憲生	K B ツツキ労組出雲支部	//	曾田 和彦	ダイワボウ労組	//	安食 洋	島根県中務労組
//	佐藤 恭治	J M S 労働組合	//	内藤 洋	中国工労組島根支部島根電力分会	//	山口 郁男	全日通労組出雲分会
//	板垣 晃	J P 労組出雲支部	//	小沢 巧	オムロン出雲労働組合	//	山崎 仁士	一畑電鉄労働組合鉄道支部
//	白根 誠	ヒラタ精機労働組合	//	宮迫 嘉治	J P 西労組出雲支部	//	錦織 靖	斐川町農協労組
事務局次長	日高 純二	出雲市職員労働組合	//	宇越 和弘	J P 労組出雲支部	//	荒木 辰也	昭和K D E 河下労組
事務局次長	安達 利文	労金出雲支店	//	平野 和樹	ヒカワ精工労働組合	会計監査	山内 秀樹	労金労組出雲分会
//	門脇 大地	全労済出雲共済ショップ	//	杉山 賢一	全水道出雲支部	//	西尾 正之	ダイワボウ労組
//	寺本 敏徳	グリーンコープ生協	//	横野由美子	さんろう保育園職員会			

隠岐地区労働者福祉協議会 2010年定期総会は8月11日(水) PM6:30に開催予定です。

第34回 全労済島根県本部通常総代会

ならびに **第1回 県本部代表者会議** を開催

第54回 島根県労働者共済生活協同組合通常総代会

(略称：島根労済)



第34回全労済島根県本部通常総代会ならびに第1回県本部代表者会議および第54回島根県労働者共済生活協同組合通常総代会が7月30日13時から、松江市の労働会館で出席総代98名、委任総代16名により開催されました。

総代会は、景山理事の開会挨拶に続き、井上総代（全県区）、岩谷総代（松江地区）を議長団に選出し開会しました。

最初に、全労済島根県本部を代表して、浅沼理事長が、組合員の協力へのお礼と「全労済を取り巻く情勢が依然として厳しい状況ではあるが、減少傾向に歯止めをかけ、着実な実績回復を図る総代会と位置づけ、今後、組合員視点に立ち、役職員一体となり推進強化を図りたい。」と挨拶しました。



浅沼理事長

来賓として、指定整備工場県協議会・岩原会長より祝辞を受け

た後、議事に入り全議案とも審議後、満場一致で承認され成功裡に終了しました。

島根労済の役員補充選挙では、4名の新しい理事が就任しました。

《就任された役員》

役職名	氏名	選出区
理事	谷口 佳寿	全県
〃	布野 英彦	大田
〃	原 英二	浜田
〃	三浦 克行	益田

《退任された役員》

役職名	氏名	選出区
理事	梅津 明則	全県
〃	横山 紀文	松江
〃	大門 克典	大田
〃	岩田 学	浜田
〃	藤井 昭見	益田

◎全労済島根県本部の「総代会」「理事会」については、今総代会をもって廃止となり、「県本部代表者会議」「県本部経営委員会」となります。

◎島根労済の「総代会」「理事会」については、これまでどおりです。

全労済の理念

理念 みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり

信条 「組合員の全労済」

私たちは、組合員のくらしを何よりも大切にし、組合員の参加をひろげ、組合員とともに、歩み続けます。

「正直な全労済」

私たちは、正直さを大切にし、組合員や地域社会からの信頼に応え、社会の発展のために、行動し続けます。

「努力の全労済」

私たちは、たすけあいの心を大切にし、全労済にかかわるすべての人の満足に向け、努力し続けます。



安心の笑顔のそばには、
いつも全労済があります。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

中国労働金庫第7回通常総会開催

信頼度NO.1の金融機関をめざして
『もっと、ずっとくろうきん』



中国労働金庫第7回通常総会が6月25日13時から、広島市のホテルグランヴィア広島で出席代議員212会員、委任会員2653会員で開催されました。

総会は、司会の小野田理事（自治労岡山県本部）の挨拶の後、川中理事（日本製鋼所労働組合広島支部）、藤井理事（トクヤマ労働組合）を議長団に指名し開会しました。

金尾理事長が挨拶の中で、2009年度の決算状況に触れ、中国労金になって始めて預金・融資の増加計画が達成できたこと、その他経営指標についても全て達成できたことに対して、会員および関係者に感謝を述べました。また、2件の不祥事が発生したことに対するお詫びを述べ、今年度の最重点課題として「信頼度No.1の金融機関をめざす」決意を表明しました。

そして日本労金合併に触れ、全国13金庫が不退転の決意で合併に向かっていることを報告し、合併の是非を問う2011年6月の総会に向けて、各種課題の整理や日本労金を見据えた諸計画を実行して旨を述べました。

つづいて、広島市長の代理として清川市民局長、中国ブロック労協連絡会の宮路会長、連合中国ブロック

連絡会の伊丹代表幹事から、来賓を代表しての祝辞を受けました。

報告事項として、2009年度業務報告・2009年度計算書類報告・監査報告を受け、全員賛成で承認がされました。その後、2009年度会員表彰として各部門表彰の第一位会員を表彰し、議案審議に入りました。

第1号議案「2009年度剰余金処分案承認の件」、第2号議案「2010年度事業計画設定の件」は、審議の後にいずれも承認され、特別報告事項「合併基本計画書原案について」も確認されました。

第2号議案の中で、「相談センター」について、2010年度に対応策を纏めることとしていたが、2009年度に協議をして一定の方向性を出した。「現金を取り扱わないこと」、「相談に特化して、日本労金になっても継続していくこと」を確認している旨の報告がありました。

また、特別報告事項では、合併基本計画書原案についての会員討議を踏まえた合併準備委員会の統一見解が示され、今後のスケジュールについて、2010年12月までに合併基本計画書を纏め、各金庫での理事会承認後に会員討議に入ること、その後、2011年6月の各金庫における総会にて合併基本計画書・合併契約書の承認をいただいた後、監督官庁へ認可申請を行なっていくことを予定している旨の報告がありました。

なお、第1号議案、特別報告について、2名の代議員から「出資配当金について」「ろうきん友の会について」「日本労金総代会について」など3件の質問・意見・要望が述べられました。



地域でがんばるNPOを応援してください。

普通預金口座からの自動引き落としで、毎月100円からできるNPO応援です。
詳しくはもよりの支店にお問合せください。

（ろうきんNPO寄付システム）

R ろうきん

勤労者のための福祉講座

新ビジネスマナー講座・基本編

新人からベテランまで、いま、社内外問わず求められているビジネスマナースキル。分かっているようで分かっていないビジネスマナー基本5原則を分かりやすく、一気にマスターできます。
座学だけでなく、ロールプレイングを行い、より実践的に学んでいただきます。

講座の内容

- ・第一印象の重要性
- ・相手の心をつかむあいさつ
- ・7秒で魅了する表情の作り方

対象

一般社員 新入社員
お客様と接する全ての職種対象
年齢・経験も新人から中堅層まで幅広く受講いただけます



講師 池上 由美（ユミプロデュース）

2005年山陰初のフィニッシングスクールを開設。ビジネスマナー、コミュニケーション、カラーコーディネート、スタイリング、話し方などを指導する。

NHK 米子文化センター講師 / JA やすぎ女子大学
コンサルティング業務 / 法務省鳥取地方法務局
青少年面接マナー講師 / 日本郵政労働組合 中堅
職員の接遇マナー講師 / 専門学校松江総合ビジネス
カレッジマナー研習講師 / その他 各種企業団体
セミナー講師

9月25日（土）午前10:00～午前11:30

場所：労働会館（松江市御手船場町557-7）

201号会議室

お申し込み：島根県労福協HPよりお申込みできます

<http://shimane.rofuku.net/>

受講料：無 料

定 員：20名

募集締め切り：9月17日

お問合せ

（財）島根県中央労働福祉センター（労働会館）

TEL 0852-23-3300

FAX 0852-23-3303

「知恵の輪相談」平成22年度 日程表

相談内容	相談者	日 程							
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
育児相談	きんろう 保育園	10	14	5	2	15	7	1	1
法律相談	水野弁護士	3	7	19	9	7	18	8	8
税金相談	加藤税理士	17	21	12	16	21	11	15	15
登記・ 法律相談	釜田 司法書士	24	28	26	24	14	25	22	22

☆場所 ろうきんローンセンターいすも（ろうきん出雲支店隣）
☆時間 指定日の 午後1:00～午後5:00

□相談料は無料です。

（ただし弁護士相談は、
2回目以降有料となります。）

予約・問い合わせは、ろうきんローンセンターいすも

0853-20-2666まで

～事前に相談・困ったら相談～

【出雲地区労福協】

しまねろうふく

2010.8
Vol.374

2010年8月2日発行（1・3・4・6・8・10月発行）
編集／「しまねろうふく」編集部 発行責任者／神門 至
発行／島根県労働者福祉協議会 松江市御手船場町557-7
TEL 0852-23-3302 FAX 0852-23-3303
ホームページアドレス：<http://shimane.rofuku.net/> eメール：rofuku@gaea.ocn.ne.jp